



かけぬいかし通信

～仲間とともに伸びる子 主体的に学ぶ子 いのち・人権を大切にする子～

<今月の巻頭言>

校長 松宮 孝明

「見知らぬ人に恩送り」

例年は7月20日前後だった1学期の終了ですが、今年は8月5日が終業式です。ここまで何とか教育活動を続けてこられたこと、関係して下さった保護者や地域の皆様にお礼と感謝の気持ちでいっぱいです。

4月の桜の時期から、臨時休校やその後の分散登校の時期を経て4ヶ月が過ぎ、8月を目前にして、今や青い夏空が広がっています。常にマスクを着けての新しい生活様式の中、やや窮屈な思いもさせてきましたが、笠縫東小の子どもたちはたくましく育っています。見守り支援して下さった皆様、ほんとうにありがとうございました。

今年は短い夏休みですが、交通事故や水の事故などにも気を付けて元気に安全に過ごしてほしいと願っています。是非とも各家庭・地域で声をかけ合い様々な事故から子どもを守っていただき、2学期最初の日には、子どもたちの全員の元気な顔が見られますよう宜しくお願いいたします。

さて、「恩送り」という言葉をご存じですか。受けた恩をその人に返す「恩返し」ではなく、別の人に送る「恩送り」を実践する動きが広がっているそうです。「人に優しくしたい」という思いを気軽に表せるとして注目されているそうです。「恩送り」は現在では、聞き慣れない言葉ですが、江戸時代には使われていたとされています。多くの人は元来、他人に親切にしたいと思っているものですが、2011年の東日本大震災以降、他者への優しさを示すキーワードとして静かに広がってきたとのことです。

5年ごとに20歳以上の男女に「たいていの人は他人の役に立とうとしていると思うか、それとも、自分のことだけに気を配っていると思うか」と尋ねたアンケート結果の変化がそれを表しています。1978年は、「自分のことだけ・・・」が74%なのに対し「他人の役に・・・」が19%と、両者の結果には大差があったのですが、年々、その差は縮まり、東日本大震災後の2013年には、ついに逆転をしたそうです。近年、物だけではなく心の豊かさも大事だとされたことや、1998年のNPO法成立による助け合い意識の高まりなどが背景にあると考えられるそうです。

また、これまでは、「思いやりのある行動をしたい」と思っても、「いい人ぶっている」と思われることが心配で、行動に移しにくいこともあったのですが、東日本大震災などをきっかけに「人助けや思いやりを隠さなくてもいい雰囲気」が社会に形作られてきているとも言われています。

私はこれらを、笠縫東小学校の子に話して聞かせ、考えさせ、ぜひ実行に移してほしいと思いました。**この夏の話題にしてほしいものです。**

最初は、「人に親切にしたい」と意識しながら行動するうちに、相手からお礼を言われたり、感謝されたりする経験を重ね、なんだかうれしく感じたり、自分を誇らしく思えてきたりして……。何か、とても素晴らしい「恩送り」の連鎖が生まれてきそうです。私たち大人も、お互いに、少し意識してみませんか。



学校閉校日のお知らせ

節電対策等で教育委員会から奨励されておりますので、8月11日(火)から14日(金)を学校閉校日とさせていただきます。了解の程よろしく申し上げます。

なお、緊急の場合は下記のとおり教育委員会へ連絡いただければ、学校に伝わるようになっております。施設管理については、学校で対応します。

草津市教育委員会事務局 学校教育課の連絡先【561-2430】



運動会のお知らせ



今年度の運動会は新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して実施します。概要は以下の通りです。

日時：10月3日（土）…荒天の場合は順延

前半の部 8：30～(1・3・5年生) 後半の部 10：20～(2・4・6年生)

*8：20登校、12：20ごろ下校(お弁当なし)

種目：各学年2種目(徒競走・団体演技)

詳細については後日連絡いたします。保護者の皆様にどのような形で参観いただくことができるのか、情勢を見ながら検討を重ねているところです。例年とは違った運動会になるかと思いますが、ご理解いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

8月の主な行事予定について

- 8月 3日（月）～4日（火）3時間授業 個別懇談会
- 8月 5日（水） 終業式 3時間授業 個別懇談会予備日
- 8月19日（水） 始業式 3時間授業
- 8月20日（木）～25日（火）短縮4時間授業
- 8月26日（水） 給食開始
- 8月31日（月） 委員会⑥

通信票「あゆみ」について

臨時休校の影響やコロナウィルス感染症への対策のため、1学期は十分な学習活動が行えなかった中で評価しています。また、個別懇談会においてお子さんの様子を直接お伝えすることもあり、所見欄の文章記述は行っておりません。ご承知ください。

笠縫東小：こころの教育コーナー

何度でもチャレンジし続ける

「**勇気！自信！リラックス！この3つがあれば、どんなことも乗り越えられる！**」

アドラーは、勇気と自信があって、どんなこともおそれずにリラックスしている人は、人生においての様々な課題を解決し、乗り越えることができると言っているんだ。乗り越えられる人は、そのための準備が整っているんだね。人生には、苦しいこともあるよね。やりたくないと思うことだってあるだろうし、逃げたくなることもあるかもしれない。でも、勇気、自信、リラックスという3つがそろっていれば、どんなことも自分の力で克服できるとアドラーははげましてくれているんだ。

苦しいことを乗り越えられたら、その経験はきみを強くしてくれるし、成長させてくれる。すると、次にまた苦しいことに出会ったとしても、前よりは強くなって成長したきみとして立ち向かうことができる。

まずは、行動！苦しいことも、きみの行動しだいで成長のステップにもできるんだよ。

（「超訳 こどもアドラーの言葉」 齋藤 孝 著より）